

「西條」

輝く瞬間 ～西條プライドを胸に～

校長 光安 淳子

3月10日、卒業を祝う会が開催されました。本校を卒業する3年生のために、1・2年生が心を込めて準備してきた出し物の発表がありました。3年生にとっても、県立一般入試に向けた緊張の日々から解放された日に開催された祝う会に、ほっと一息ついた生徒も多かったように感じました。1・2年生が準備した内容は、どれもほのぼのと心温まるものとなっており、それを受け止める3年生の姿勢がまた素晴らしく、本校の伝統が3年生から、しっかりと1・2年生に引きつがれていくにちがいないと確信しました。後半には、全校で「旅立ちの日に」を合唱しました。私も、本校に着任して2年を経て、初めて、西條中学校の生徒が一丸となって歌う合唱を体感しました。体育館じゅうに響き渡る歌声に心が奮えました。同時に、西條中学校がもつパワーに圧倒されました。

私たちは、3年間、新型コロナウイルス感染症における行動制限の中で、様々な困難に出会ってきました。それでも、できる限りの活動を、知恵を結集して推進してきました。どんな厳しい状況にあっても、夢をもって、前を向いて進んできました。

これからも西條プライドを胸に、自分と仲間の可能性を信じ、たくましく歩いていきたいと思えます。たくさんの輝く瞬間を、大切にしていきたいと思えます。



野球部、男女ハンドボール部の壮行会



2年生の出し物



1年生の出し物



2年生から3年生へ花鉢の贈呈



全校合唱「旅立ちの日に」